

研究名：活動性結核入院例における悪性腫瘍合併の検討

研究責任者： 緩和ケア内科/呼吸器内科 職名 医師 氏名 池田 みき

研究の背景・意義・目的：

わが国の肺結核の新登録患者数は減少傾向にありますが、全結核患者さんのうち3人に1人以上が80歳以上となっており高齢者の結核が問題となっています。高齢者の結核は余病の発症などによる免疫力の低下に伴う内因性再燃が多く、その余病の一つとして悪性腫瘍が挙げられます。悪性腫瘍患者さんは増加傾向にあるものの、結核の合併についての報告は近年、ほとんどなされていません。このため活動性結核症で入院した悪性腫瘍患者さんについて調査させて顶くことで、悪性腫瘍患者さんにおける結核内因性再燃の実態を発信し、我が国における様々な悪性腫瘍患者さんがん治療中の結核早期発見早期治療の促進や、診断の遅れによる結核死症例の減少につなげることを目的としています。

研究の方法：

・**対象となる患者さん**

2013年1月1日から2017年12月31日までに当院に活動性結核で入院された方のうち、入院前5年以内に支持療法のみを含む悪性腫瘍治療歴がある方

・**研究期間** 院長の研究実施に関する決定通知発行後から西暦2030年3月31日

・**利用するカルテ情報**

診断名、年齢、性別、既往歴、結核排菌状況、結核発症部位、結核治療内容、入院中の治療経過、悪性腫瘍名、悪性腫瘍治療内容

・**情報の管理**

情報は、当院のみで利用します。

研究組織：この研究は、当院のみで実施されます。

個人情報の取扱い：

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

研究計画書等の公表：

この研究に関連した各種データについて知りたい場合は、担当医師を通じてその情報の開示を求めるることができます。また、ご希望があれば、研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧や、ご提供することも可能です。ただし、他の患者さんの個人情報や研究の知的財産など、情報の種類によっては開示できないものがあります。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご自身の検体やカルテ情報を当該研究に利用することをご了解できない場合などは、研究対象とはしませんので、研究責任者までお申し出ください。その場合でも皆様に不利益が生じることはございませんのでご安心ください。

<問い合わせ先> 独立行政法人国立病院機構 東京病院 緩和ケア内科氏名:池田 みき(いけだ みき)
住所 東京都清瀬市竹丘 3-1-1 電話 : 042-491-2111 (代)

独立行政法人国立病院機構 東京病院 院長